



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)
【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)
【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)
【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券
 月次レポート(販売用資料) 作成基準日:2019年4月26日

- 当ファンドは「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」の3本のスイッチング可能なファンドで構成されています。
- 商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないます。

《お知らせ》当ファンドは2019年6月25日をもって満期償還となります。

ファンド名称	基準価額	純資産総額
WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)	3,369 円	4,487 百万円
WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)	7,706 円	107 百万円
WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)	9,962 円	415 百万円

ファンドと原油先物価格の騰落率	騰落率					
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ロング・ポジション 騰落率	9.5%	17.8%	-5.2%	-6.0%	10.0%	-66.3%
ショート・ポジション 騰落率	-9.4%	-16.6%	-1.1%	-4.9%	-39.1%	-22.9%
WTI原油先物価格 騰落率 (ロールオーバー考慮後)	9.8%	18.8%	-4.2%	-3.5%	21.2%	-59.2%

分配金(1万口当たり、税引前)	分配金			
	第1-6期 (2010/6 - 2015/6)	第7期 (2016/6)	第8期 (2017/6)	第9期 (2018/6)
ロング・ポジション	0 円	0 円	0 円	0 円
ショート・ポジション	0 円	0 円	0 円	0 円
マネー・ポジション	0 円	0 円	0 円	0 円

※基準価額は10,000口当たりで表示しています。基準価額の計算において信託報酬は控除されています。
 ※ファンドの騰落率(小数点以下第2位を四捨五入)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の騰落率です。
 税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。
 ※WTI原油先物価格騰落率(ロールオーバー考慮後)は、日々の騰落率を基に計算しています。税金、手数料等は考慮しておりません。
 (期限月最終取引日以降のWTI原油先物価格の騰落率は、翌限月の清算値の騰落率を使用しています。)
 ※WTI原油先物価格は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

ファンドマネージャーのコメント

【市況】
 WTI原油先物は大幅に続伸しました。世界経済の減速懸念の後退を受けて投資家のリスク選好が強まったことに加え、米国とイランの緊張の高まりや産油国リビアでの内戦激化などが原油相場を押し上げる要因となりました。3月末から4月初めにかけて公表された中国及び米国の製造業景況感はいずれも堅調な結果でした。4月初頭に発表された米雇用統計でも、前月の弱い数字からの持ち直しが確認されました。堅調な経済指標を受けて世界経済の減速懸念が後退し、市場ではリスク選好ムードが高まりました。米株式市場が史上最高水準まで上昇する中、WTI原油先物も上昇基調で推移しました。米トランプ政権は、イランの政府機関である革命防衛隊をテロ組織に指定しました。更に米国が昨年11月に発動したイラン産原油の禁輸制裁について、日本や中国などの8か国・地域に対して半年間の期限付きで認めてきた適用除外の特例措置を延長しないと決定しました。イラン産原油の供給が今後更に減少し、世界的に原油供給が逼迫するとの懸念から原油価格は一段高となりました。リビアの首都トリポリでは、武装勢力と暫定政府の間で激しい戦闘が続いています。4月中旬には国連主導での和平協議が予定されていましたが、戦闘の激化により協議の延期が決まりました。治安悪化により、リビアの原油供給に対する警戒感が高まったことも原油価格を押し上げました。

【基準価額の動きと運用概況】
 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」(以下、ロング・ポジションとします。)の日々の基準価額の値動きは、WTI原油先物価格と概ね連動しました。また、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」(以下、ショート・ポジションとします。)の日々の基準価額の値動きは、WTI原油先物価格と概ね反対に推移しました。ロング・ポジションは、4月1日に基準価額が3,120円の月間最安値をつけた後、相場の上昇にともない、24日に3,419円の月間最高値をつけました。一方、ショート・ポジションは、1日に8,402円の月間最高値をつけた後、相場の上昇にともない、24日に7,582円の月間最安値をつけました。

【今後の見通しと投資戦略】
 米中通商交渉は大詰めを迎えており、9日から10日にかけて米中の閣僚級協議がワシントンで開催される予定です。米トランプ大統領が対中関税を引き上げる方針を示し、強硬姿勢を前面に押し出す中での協議は難航が予想され、短期的に原油相場の上値は重くなりそうです。一方で、今回の通商交渉が合意に達するなり、前進が確認できる発言があれば、原油相場が上値を追う動きになることも考えられます。石油輸出国機構(OPEC)と非OPEC産油国による協調減産は6月末に期限を迎えます。OPECの盟主サウジアラビアが2019年末までの期限延長の可能性を示唆する一方、非OPECの主要産油国であるロシアは、国内石油産業への影響や同国産原油の輸出シェア確保の観点から、期限延長に慎重なスタンスです。6月下旬に開かれるOPEC総会および産油国会合で今年下半期の生産目標が決定される見込みです。6月末での減産終了やロシアの離脱も取りざたされる中、5月中旬にサウジアラビアで開催される、協調減産合意の順守状況精査のための共同閣僚監視委員会にも注目が集まります。

※上記は作成日時点での見通しであり、今後予告なしに変更することがあります。また市場の変動等により方針通りの運用が行なえない場合があります。
 ※当ファンドは2019年6月25日をもって満期償還を迎えるため、償還1カ月前を目処に短期金融資産を中心とした安定運用に切り替えることを予定しています。

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様へ帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

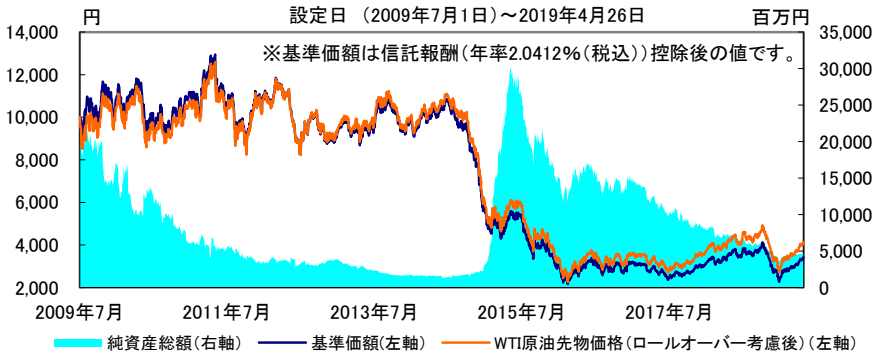
【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券

月次レポート(販売用資料) 作成基準日: 2019年4月26日

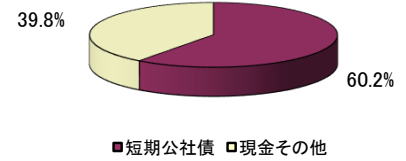
ロング・ポジション

基準価額(分配金込み)と純資産総額の推移



※基準価額(分配金込み)は課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の推移を示しています。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。
 ※WTI原油先物価格(ロールオーバー考慮後)は、2009年6月30日を10,000円として指数化しています。ロールオーバー考慮後とは、期近限月最終取引日以降のWTI原油先物価格の騰落率に、翌限月の清算値の騰落率を使用したものです。騰落率の計算では、税金、手数料等を考慮していません。WTI原油先物価格は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

資産構成比率

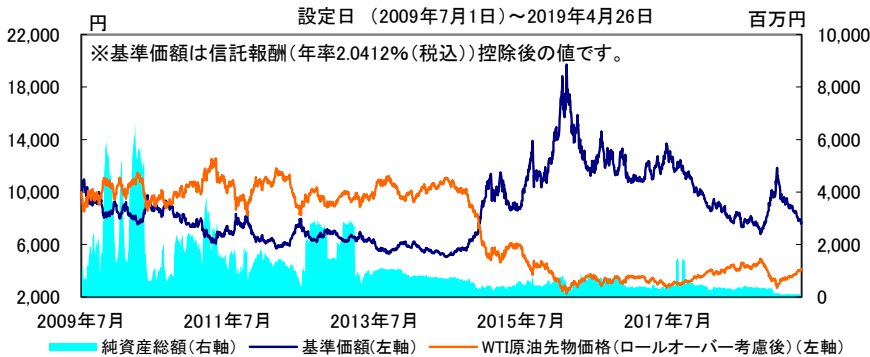


4月26日現在、
純資産総額の98.43%の WTI原油先物を買建てています。

※現金その他には、差入委託証拠金(米ドル建て、円換算)等が含まれています。外貨建資産は、比率がほぼ100%となるように為替ヘッジを行なっています。
 ※資産構成比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。

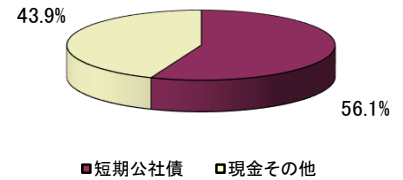
ショート・ポジション

基準価額(分配金込み)と純資産総額の推移



※基準価額(分配金込み)は課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の推移を示しています。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。
 ※WTI原油先物価格(ロールオーバー考慮後)は、2009年6月30日を10,000円として指数化しています。ロールオーバー考慮後とは、期近限月最終取引日以降のWTI原油先物価格の騰落率に、翌限月の清算値の騰落率を使用したものです。騰落率の計算では、税金、手数料等を考慮していません。WTI原油先物価格は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

資産構成比率

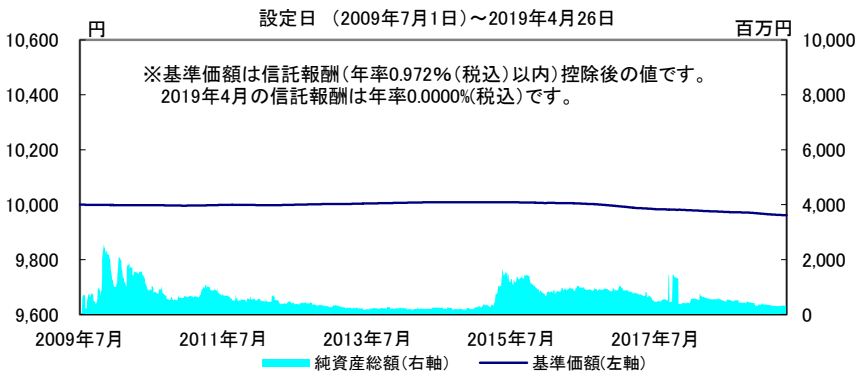


4月26日現在、
純資産総額の95.42%の WTI原油先物を売建てています。

※現金その他には、差入委託証拠金(米ドル建て、円換算)等が含まれています。外貨建資産は、比率がほぼ100%となるように為替ヘッジを行なっています。
 ※資産構成比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。

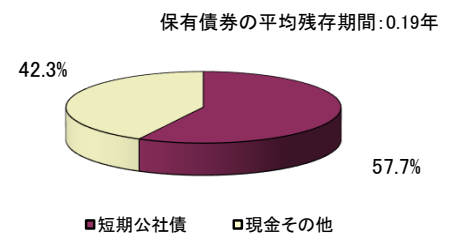
マネー・ポジション

基準価額(分配金込み)と純資産総額の推移



※基準価額(分配金込み)は課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の推移を示しています。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

資産構成比率



※保有債券の平均残存期間は保有比率で加重平均して算出しています。
 ※資産構成比率は、純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。
 ※資産構成比率は小数点第2位以下、債券の平均残存期間は小数点第3位以下を四捨五入しています。

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様へ帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券

月次レポート(販売用資料)

当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、アストマックス投信投資顧問株式会社により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。当資料は、信頼できると判断される情報に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

基準価額の動きについてのご留意事項

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。そのため、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額とWTI原油先物取引価格の値動きの例

	基準日	1日目	2日目	2日間の騰落率
WTI原油先物ファンド	10,000円	11,000円 (+10%)	9,350円 (-15%)	-6.5%
WTI原油先物取引価格	10,000円	9,000円 (-10%)	10,350円 (+15%)	+3.5%

※WTI原油先物取引価格を10,000円としています。実際に取りされる価格とは異なります。

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、原油先物取引を活用するため、主として以下の要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご注意ください。

- 原油先物取引のロールオーバー(期近の取引を決済し、期先の取引へ乗換える)時に発生する売買委託手数料等の負担や限月間の価格差(スプレッド)による影響
限月間の価格差(スプレッド)によりロールオーバーに伴うコストが発生した場合には、WTI原油先物取引価格と基準価額にかい離が生じる可能性があります。
- 運用資金の増減等の対応のために行なった原油先物取引の約定価格と終値に差が生じた場合
- 大幅な変動や急激な変動、流動性の低下などにより先物取引が成立せず、必要な取引数量のうち全部または一部が取引不成立となった場合
- 原油先物取引の最低取引単位の影響
- 売買委託手数料、信託報酬、監査報酬等の負担

※上記以外にも、運用目標が達成できない場合があります。なお、市場動向等に急激な変化が生じたときまたは予想されるとき、信託財産を保全するため原油先物取引の建玉を縮小もしくは全て決済する場合があります。その場合、基準価額はWTI原油先物取引価格の値動きの影響を受けにくくなること、もしくは受けなくなることが想定されます。

換金性等が制限される場合について

商品市場および金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止すること、または既に受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みを取消す場合があります。

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様に帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】追加型投信/国内/債券

月次レポート(販売用資料)

基準価額の変動要因

当ファンドは、主に商品先物取引(「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」以外の各ファンド)およびわが国の公社債を投資対象としますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、全て投資者の皆様へ帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

<主な変動要因>

商品先物取引による運用に伴うリスク	商品先物の取引価格は、様々な要因(商品の需給関係の変化、天候、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、技術発展等)に基づき変動します(個々の品目により具体的な変動要因は異なります)。商品先物を買建てている場合、価格が下落すれば損失が発生し、売建てている場合、価格が上昇すれば損失が発生します。当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、短期的または長期的に大きく下落し、投資元本を下回ることがあります。その他、商品先物取引が基準価額に影響を与える要因については、下記「商品先物取引による運用に伴うリスク」をご参照ください。
公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行となった場合、またはその可能性が予想される場合には、当該公社債の価格は大きく下落します。当ファンドが組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
為替リスク	外貨建資産は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。当ファンドが組入れている外貨建資産について、当該外貨に対して円高となった場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。当ファンドにおいては、外貨建資産の為替変動リスクを低減するため、外国為替予約取引等を用いて為替ヘッジを行ないますが、想定したほどヘッジ効果があがらない場合があります。基準価額に影響を及ぼすことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済・社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合等には、運用の基本方針に沿った運用を行なうことが困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されているものではありません。

商品先物取引による運用に伴うリスク

上記「基準価額の変動要因」に記載した要因以外の基準価額に影響を与える要因

- 外貨建てで取引される場合は、為替変動の影響を受けます。
- 市場の流動性の低下、投機家の参入および政府の規制・介入等の様々な要因により、影響を受けることがあります。流動性の低下等により、価格が著しく不安定となる場合や、売買の際に大きく変動することがあります。
- 取引所が定める値幅制限等の規制により、不利な価格で取引を行なわなければならないことがあります。
- 価格の低い期近の先物を価格の高い期先の先物に買換える場合、または価格の高い期近の先物を価格の低い期先の先物に売換える場合、マイナスの影響を及ぼす可能性があります。

その他の留意点

■クーリング・オフについて

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

■「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。そのため、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。

※詳しくは、当資料のP3「基準価額の動きについてのご留意事項」をご参照ください。

■基準価額の動きの留意事項について

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、原油先物取引を活用するため、主として当資料のP3「基準価額の動きについてのご留意事項」に掲げる要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご注意ください。

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様へ帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券

月次レポート(販売用資料)

ファンドの費用

※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネーポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

■お客様が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.24%(税抜3.00%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングによる買付けの場合の手数料は、上記「購入時手数料」の3分の1の金額となります。 ※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」へのスイッチングについては、手数料はいただきません。 ※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。 ※購入時手数料は、購入時の商品および投資環境に関する説明や情報提供、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。

■お客様が信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	役務の内容
運用管理費用 (信託報酬)	【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 純資産総額に対し、 年率2.0412%(税抜年率1.89%) とします。 【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 純資産総額に対し、 年率0.9720%(税抜年率0.9%) を上限とします。	委託会社、販売会社、受託会社の役務の内容については以下の通りです。 委託会社:資金の運用の対価 販売会社:運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社:運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他の費用 ・手数料	①法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産の監査に係る費用、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.1%の率を上限として乗じて得た額です。これらの報酬等は、信託報酬の支払いと同一の時期に信託財産中から支払われます。 ②商品先物や有価証券売買時の売買委託手数料、借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がお客様の保有期間中、その都度信託財産中から支払われます。これらの費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ

※スイッチング及び「WTI原油先物ファンド(マネーポジション)」のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています)
購入・換金申込不可日	「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」については、ニューヨークの銀行の休業日もしくはロンドンの銀行の休業日の場合は、原則として購入・換金の申込みを受けけないものとします。
申込締切時間	午後3時までとします(販売会社所定の事務手続きが完了したものの)。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金の申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
信託期間	2019年6月25日までとします(2009年7月1日当初設定)。
収益分配	毎年6月25日(休日の場合、翌営業日)の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。ただし、基準価額の水準や市況動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。なお、分配金は税引後、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。分配金再投資コース(税引後の分配金が自動的に無手数料で再投資されるコースをいいます。)はありません。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様に帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネーポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券
月次レポート(販売用資料)

委託会社その他の関係法人

委託会社 **アストマックス投信投資顧問株式会社**
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

受託会社 **三井住友信託銀行株式会社**

販売会社	登録番号	加入協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は情報の提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。当ファンドは、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象でもありません。当ファンドの運用による損益は、投資者の皆様に帰属します。当ファンドのお買付のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。